

# インドネシア情報レポート

(2023年10月27日)

(公財)大阪産業局 インドネシアビジネスサポートデスク

PT. JAC Consulting Indonesia

2023年10月、次期大統領選に向けた立候補者の届け出が始まりました。有力候補とされるアニス・バスウェダン前ジャカルタ特別州知事やガンジャル・プラノウォ前中部ジャワ州知事、プラボウォ国防相が届け出を済ませており、2024年2月に行われる次期大統領選挙に向け、注目が高まっています。また、中国の支援により建設されたジャカルタ～バンドン間を結ぶ高速鉄道が開通しました。現在は輸入車両を使用していますが、インドネシア国内での車両製造により力を入るとされています。首都移転や地下鉄の都市網羅など今後もインフラ事業に注目が集まっています。

今月はインドネシアでの駐在員の生活や週末の過ごし方について一般的な情報をお伝えします。約2万人の日本人が在留していると言われるインドネシアでは、多くの駐在員がアパートメント（日本で言うところの「マンション」）に住んでいます。家賃は月々USD1,500～で駐在員向けのアパートメントが多くあります。食事面では、昼食はオフィスビルや工業団地に展開している日本食料理店でランチメニューを食べ、夕食ではブロック M と呼ばれる日本式の居酒屋が多いエリアで会食をする一日が定番です。週末には駐在員同士でゴルフをする事が多く、駐在員の生活の一部となっています。ゴルフ場はジャカルタ近郊にも非常に多くありますが、週末は予約が難しいほどの人気です。一回1万円～2万円位とあまり安いとは言われていません。ゴルフ以外にも駐在員のフットサルやソフトボールのチームなど非常に多くのサークルが存在します。県人会や干支が同じ人が集まる会など多くのコミュニティもあります。こうした活動は、駐在員の一つの娯楽となっています。最近ではインドネシアへの出張者や駐在員増員のご相談が多くなっているため、より賑わいを増していくことでしょう。また、インドネシア国内のインフラ整備の進展により、今後さらに日系の飲食店やサービス業の増加が期待されます。